

令和5年度予算案の検討状況(主要事項)

京丹後市教育委員会

主要事項(案)		内容(案)
教育環境・施設整備		
拡	小中学校体育館照明LED化事業	・6中学校体育館照明LED化工事 ・令和6年度工事に向けた設計(小学校3校)
継	小中学校トイレ洋式化事業	・丹後小、丹後中、久美浜中のトイレ洋式化改修工事 ・令和6年度工事に向けた設計(峰山中、大宮中、網野中) ※令和5年度小学校完了、令和6年度中学校完了を目指す
継	大宮第一小学校空調設備更新事業	平成14.15年度に整備した普通教室等の空調機器更新
学校給食		
継	網野学校給食センター整備事業	現網野給食センター老朽化等に伴い、旧郷小学校グラウンドへ建替整備を行う ※令和5年度から2カ年の工事、令和7年度供用開始予定。
継	学校給食材料費支援補助金【1食200円給食】	小中学校の給食費の保護者負担を1食200円に統一し差額を補助金として交付。物価高騰による給食食材費の保護者負担を軽減するとともに、学校間で異なっていた負担額を統一。
グローバル人材の育成		
拡	英語力向上アプリ「ELSA Speak」の導入	令和4年度に中学2年生全員を対象にスタートした英語力向上アプリ「ELSA Speak」を、中学1年生及び3年生全員にも広げ、中学3年間の英語力の向上を図る。
継	「Kyotango Sea Labo」の開催	中学3年生及び高校2年生を対象に、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させた6日間のプログラム(ワークショップ)を実施。海外大学から課題解決のための新しい発想方法「デザイン思考」を学び、このまちの未来をデザインする次世代リーダーを育成する。
継	中学生海外派遣事業	中学2年生希望者がニュージーランドでの9日間のホームステイ、学校活動を体験する。
教職員の働き方改革		
拡	小学校の留守番機能付電話への更新	小学校の夜間・休日の電話対応を「音声ガイダンス」とするため、留守電機能がない電話設備を更新するとともに、緊急連絡用として各校に1台ずつ携帯電話を導入する。※中学校は更新済
新	PBL型業務改善コンサルティングの導入	学校現場における業務改善や時間外勤務削減等働き方改革を進めるため、PBL型(問題解決型)の専門的なコンサルティングを導入する。モデル校での導入から各校への展開を図る。
新	中学校テスト採点補助システムの導入	採点補助システムを導入し、長時間に及ぶテストの採点時間の削減と効率化を目指す。効果が発揮される生徒数の多い中学3校で導入。
継	スクールサポーター等必要な職員体制整備	市費によるスクールサポーター、府費による教員業務支援員など、必要とされる支援スタッフ等を学校に配置する。

主要事項(案)		内容(案)
不登校・いじめへの対応		
拡	教育支援センター「麦わら」指導員の増員	不登校児童生徒が増加する中、教育支援センターの指導員を増員(現行5人から6人へ)し、学校での「別室登校」の支援や自宅等へ出向くアウトリーチ型の訪問支援を充実させ、通いたくても通えない児童生徒に対する多様なニーズに応えていく。
継	SNS(LINE)によるいじめ相談対応	いじめ問題に悩む児童生徒がより気軽に相談できるよう、LINEによる相談窓口を設置し対応する。※令和3年度開設
子育て支援		
新	ヤングケアラーへの支援	ヤングケアラーの実態を把握し適切な支援につなげるため、コーディネーター1人を新たに配置し、相談対応のほか、実態調査、広報啓発、関係者の研修などを行う。
拡	私立保育所等障害児保育の支援	私立保育所等が行う障害児保育事業に対して、円滑な運営実施のための体制づくりを支援する。
継	子育て環境整備の促進	子どもを地域全体で育て、支える仕組みづくりを促進し、子育て環境の充実を図ることを目的として、下記を対象とした「子育て環境整備応援プロジェクト補助金」を交付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する継続的な活動 ・子育て支援に関するイベント開催 ・店舗等における授乳用設備やおむつ交換台等の設置
その他		
新	京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会の設置	次期教育振興計画、教育大綱につなげていくことも視野に入れながら、これまでの取組を基礎としつつ、Society5.0に対応した新たな教育や人材育成の在り方、方向性等について検討する。
新	部活動の地域移行に関する検討会議	国から示される「休日の中学校部活動の段階的な地域移行」等について、学校やスポーツ団体等の関係者により、本市の実態に即した在り方、進め方の検討を行う。
継	定住促進奨学金返還支援制度の運用	本市に定住し就業(勤務地は本市から通勤圏)する若者の奨学金返済を支援(最大で10年間合計360万円)し、移住定住を促進する。令和3、4年度に認定決定を受けた認定者に対し補助金を交付するとともに、次年度以降に交付する認定募集を行う。
新	文化芸術推進事業	京丹後市文化芸術振興計画の策定や令和5年の文化庁京都移転を契機に、文化芸術のまちづくりに資する新たな取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術実践会議(仮称)の設置運営 ・京丹後市展(仮称)の開催 ・質の高い文化芸術を鑑賞・体験するイベントの実施 ・マネージメントや情報発信等を行う専門人材の配置(令和4年度予定)
拡	文化財保存活用地域計画に基づく取組	令和4年12月に文化庁認定を受けた地域計画に基づく文化財の保存、活用に資する取組を拡充し実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・網野銚子山古墳整備事業(継:令和6年度完成予定) ・丹後震災記念館伊藤快彦画の補修(新、令和5年度から3カ年予定) ・京丹後市歴史文化物語発信事業(新) ・市民遺産制度の創設と市民遺産会議設置(新)